令和４年度　多摩市立東落合小学校　　授業改善推進プラン　　教科名　理科

理科における指導の重点（身に付けさせたい力）　※学習指導要領に照らし合わせて	
ア（知識及び技能）	イ（思考力、判断力、表現力等）
自然の事物・現象についての理解を図り、事象や観察、実験などに関する基本的な知識・技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、問題解決の力を養う。

	児童・生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証（２月）
中学年	・意欲をもって観察する取り組みを行うが、細かく観察することに個人差がある。ア イ ・考えたことを自分の言葉で表現することに課題がある。イ	・観察するポイントを示し、焦点を絞って観察させる。諸感覚を働かせて感じたことを言語化する取組を積み重ねる。 ・中学年で大切にされている問題解決学習の考え方である「問題作り」「予想」の場面において、ＩＣＴ機器を使用したり、対話を行ったりして、自分の考えをもち、クラスで共有していく。	毎単元 毎単元	
高学年	・学習の内容や活動においては、意欲的に取り組むが、生活に関連付けて予想したり、予想に対する考察をしたりすることに課題がある。ア イ	・「問題」「予想」「方法」「結果」「考察」「まとめ」などの一連の流れが分かるようなノート記載の仕方を示し、それにもとづき指導をしていく。	毎単元	

■「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について

全学年：単元ごとにどのような場面でＩＣＴを使用するのが有効かを考えて、活用していく。実験の様子をタブレット端末で撮影をしておき、話合い活動の際にグループ全員で見合うことができるようにする。結果や考察を考える際にいつでも振り返ることができるようにするなど、知識・技能の定着を図るために活用をしていく。

■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について

全学年

- ＩＣＴ機器を使用して、実験の記録を写真で残して、振り返ることができるようにする。
- 理科の学習の流れを示し、毎回、その流れによって学習を進めていくことで、「学びに向かう力」を育成していく。